

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	夢みつけ隊株式会社
【英訳名】	YUMEMITSUKETAI Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 佐々木 ベジ
【本店の所在の場所】	東京都新宿区愛住町13番地10
【電話番号】	03(5369)7831(代表)
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当 係長 秦 剛浩
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区愛住町13番地10
【電話番号】	03(5369)7831(代表)
【事務連絡者氏名】	経理・財務担当 係長 秦 剛浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期連結 累計期間	第34期 第2四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (千円)	1,208,049	1,095,665	2,401,328
経常利益 (千円)	46,575	41,241	106,163
四半期(当期)純利益 (千円)	42,433	30,841	86,777
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	6,433	169,479	99,924
純資産額 (千円)	662,301	953,830	764,119
総資産額 (千円)	2,111,137	2,529,604	2,267,981
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.32	3.08	8.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.32	-	-
自己資本比率 (%)	31.1	37.6	33.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	71,767	4,197	183,712
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	10,222	260,510	53,981
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	31,406	70,920	33,673
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	595,352	530,492	724,280

回次	第33期 第2四半期連結 会計期間	第34期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.45	0.99

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3. 第34期第2四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策による株高・円安の流れが続き、景気回復の兆しが見られる状況となりました。当社が属する通信販売業界におきましても、景気回復の流れから、個人消費も緩やかな上昇基調で推移いたしました。一方で平成26年4月の消費税率引き上げも決定され、今後の消費動向には不透明な状況も残されています。

このような経済状況のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社)は、より一層の効率的経営を目指して活動をしてまいりました。

なお、セグメントの業績は次のとおりであります。

通販小売事業

主力となります通信販売カタログの編集制作においては、新規顧客獲得を目的として第1四半期連結会計期間から取り組みを始めた、新聞媒体への出稿を強化しております。取り扱う商品を原価率の低い当社オリジナル商品に切り替えることで、利益を確保しながら一定数の新規顧客の獲得に成功いたしました。また、オリジナル商品の掲載は当社の目指す「付加価値訴求型通販」へのアピールとなり、購買力の高い既存顧客の思考と近い層の新規顧客獲得へと繋げております。顧客数の増加は今後の売上高増加へ直接的に寄与するものと考え、今後も取り組みを進めて参ります。一方、既存顧客に向けた活動では、休眠顧客の掘り起こしを目的としたカタログを発行し活性化を図ったほか、主力カタログ「夢みつけ隊」において購入特典を充実させるなど、下位層顧客を上位層へと導く取り組みを進めており顧客稼働率の上昇による売上高増加を目指しました。自社サイト「夢隊WEB」においては、従来のPCサイトに加え、近年利用者が増加しているスマートフォン・タブレット端末向けのサイトを制作し、顧客利便性の向上に努めると共に、新規顧客獲得の強化を図りました。

以上の結果、通販小売事業の売上高は1,027百万円(前年同四半期比9.1%減)となり、セグメント利益は113百万円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

不動産事業

不動産事業においては、市況を慎重に判断した上で、取得及び販売の時期を検討するとともに、保有する不動産の賃貸を行っております。

以上の結果、不動産事業の売上高は40百万円(前年同四半期比1.1%減)となり、セグメント利益は22百万円(前年同四半期比117.7%増)となりました。

その他

グリストラップ浄化装置等のレンタル事業においては、新規の設備の取得は行わず、既存の設備のレンタルを継続しております。ライフステージ株式会社は、介護施設を運営し、デイサービスを行っております。

以上の結果、その他の売上高は28百万円(前年同四半期比24.6%減)となり、セグメント利益は4百万円(前年同四半期比36.4%減)となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は1,095百万円(前年同四半期比9.3%減)、営業利益は54百万円(前年同四半期比12.7%減)、経常利益は41百万円(前年同四半期比11.5%減)、四半期純利益は30百万円(前年同四半期比27.3%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、530百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が39百万円であり、また売上債権の減少が26百万円、たな卸資産の増加が71百万円であったことなどから、4百万円の支出（前年同四半期は71百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出248百万円などにより、260百万円の支出（前年同四半期は10百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入200百万円などにより、70百万円の収入（前年同四半期は31百万円の支出）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,496,000
計	20,496,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	10,458,000	10,458,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	10,458,000	10,458,000		

(注) 発行済株式数のうち、2,430,774株は、現物出資(投資有価証券 150,708千円)によるものであります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		10,458,000		534,204		

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
佐々木ベジ	東京都千代田区	5,334	51.00
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	420	4.02
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛住町13番地10	341	3.26
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4	156	1.49
岡田隆裕	香川県丸亀市	126	1.20
谷口元一	東京都港区	100	0.96
戸田泉	東京都港区	100	0.96
山光元司	広島県呉市	85	0.81
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	81	0.78
SMBCFriend証券株式会社	東京都中央区日本橋兜町7-12	80	0.76
計		6,824	65.26

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等) (注)1	(自己保有株式) 普通株式 341,300		
完全議決権株式(その他)(注)2	普通株式 10,116,000	101,160	
単元未満株式	普通株式 700		1単元(100株)未満の 株式
発行済株式総数	10,458,000		
総株主の議決権		101,160	

(注)1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、全て当社保有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式2,000株が含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権数の数20個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数(株)	他人名義所有株式 数(株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
夢みつけ隊株式会社	東京都新宿区愛 住町13番地10	341,300		341,300	3.26
計		341,300		341,300	3.26

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	744,280	550,492
受取手形及び売掛金	211,912	185,736
商品	79,674	70,738
販売用不動産	172,977	253,451
貯蔵品	2,454	2,432
繰延税金資産	41,020	39,825
その他	161,443	105,869
貸倒引当金	18,033	6,482
流動資産合計	1,395,729	1,202,064
固定資産		
有形固定資産		
建物	283,161	285,477
減価償却累計額	35,884	42,386
建物(純額)	247,277	243,090
車両運搬具	10,635	10,635
減価償却累計額	10,233	10,283
車両運搬具(純額)	401	352
工具、器具及び備品	47,958	47,958
減価償却累計額	34,800	35,089
減損損失累計額	8,917	8,917
工具、器具及び備品(純額)	4,240	3,950
機械及び装置	78,437	34,867
減価償却累計額	57,543	17,321
減損損失累計額	12,477	12,477
機械及び装置(純額)	8,416	5,069
土地	393,721	394,992
その他	10,617	12,885
減価償却累計額	7,018	8,101
その他(純額)	3,598	4,784
有形固定資産合計	657,656	652,239
無形固定資産	2,636	2,238
投資その他の資産		
投資有価証券	149,371	606,205
長期貸付金	2,840	2,600
繰延税金資産	4,293	-
その他	83,794	91,396
貸倒引当金	28,339	27,139
投資その他の資産合計	211,960	673,062
固定資産合計	872,252	1,327,540
資産合計	2,267,981	2,529,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	187,367	161,401
短期借入金	577,998	452,367
1年内返済予定の長期借入金	34,687	101,416
未払金	112,107	85,583
返品調整引当金	2,696	909
ポイント引当金	12,308	12,566
その他	39,395	39,501
流動負債合計	966,560	853,745
固定負債		
長期借入金	517,098	632,920
繰延税金負債	-	67,826
その他	20,204	21,282
固定負債合計	537,302	722,028
負債合計	1,503,862	1,575,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,204	534,204
資本剰余金	314,724	266,761
利益剰余金	112,390	143,231
自己株式	186,734	117,739
株主資本合計	774,584	826,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,688	125,144
その他の包括利益累計額合計	13,688	125,144
少数株主持分	3,222	2,228
純資産合計	764,119	953,830
負債純資産合計	2,267,981	2,529,604

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,208,049	1,095,665
売上原価	577,109	514,306
売上総利益	630,940	581,358
販売費及び一般管理費	¹ 568,488	¹ 526,855
営業利益	62,452	54,503
営業外収益		
受取利息	59	52
受取配当金	342	342
業務受託手数料	1,445	710
その他	1,219	1,307
営業外収益合計	3,066	2,412
営業外費用		
支払利息	18,510	15,256
その他	433	417
営業外費用合計	18,943	15,674
経常利益	46,575	41,241
特別利益		
負ののれん発生益	-	800
特別利益合計	-	800
特別損失		
固定資産除却損	2,940	2,119
関係会社株式売却損	1	-
特別損失合計	2,942	2,119
税金等調整前四半期純利益	43,633	39,922
法人税、住民税及び事業税	9,785	5,261
法人税等調整額	10	4,014
法人税等合計	9,795	9,275
少数株主損益調整前四半期純利益	33,837	30,646
少数株主損失()	8,595	194
四半期純利益	42,433	30,841

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,837	30,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,404	138,832
その他の包括利益合計	27,404	138,832
四半期包括利益	6,433	169,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,029	169,673
少数株主に係る四半期包括利益	8,595	194

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	43,633	39,922
減価償却費	19,762	9,550
株式報酬費用	2,933	7,032
貸倒引当金の増減額（は減少）	860	1,258
返品調整引当金の増減額（は減少）	696	1,786
ポイント引当金の増減額（は減少）	1,843	258
受取利息及び受取配当金	402	394
支払利息	18,510	15,256
為替差損益（は益）	135	0
固定資産除却損	2,940	2,119
負ののれん発生益	-	800
関係会社株式売却損益（は益）	1	-
売上債権の増減額（は増加）	53,908	26,175
たな卸資産の増減額（は増加）	18,809	71,517
仕入債務の増減額（は減少）	62,512	25,522
未払金の増減額（は減少）	18,151	19,919
その他の流動資産の増減額（は増加）	11,615	38,034
その他の流動負債の増減額（は減少）	4,853	8,046
その他	1,542	1,212
小計	86,195	26,407
利息及び配当金の受取額	402	394
利息の支払額	15,008	15,495
法人税等の支払額	951	15,505
法人税等の還付額	1,130	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,767	4,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	6,777
投資有価証券の取得による支出	-	248,551
関係会社株式の売却による収入	260	-
貸付金の回収による収入	440	3,074
預り保証金の返還による支出	229	200
預り保証金の受入による収入	1,712	906
差入保証金の差入による支出	12,000	9,990
その他	406	1,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,222	260,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	22,906	125,631
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	8,500	17,448
ストックオプションの行使による収入	-	14,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,406	70,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	30,002	193,788
現金及び現金同等物の期首残高	565,349	724,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 595,352	¹ 530,492

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)
 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	86,214千円	80,424千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
販売促進費	211,121千円	216,729千円
従業員給与・賞与	99,269	83,253
荷造配送費	66,770	61,473
減価償却費	5,805	4,294
貸倒引当金繰入額	2,195	73

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	595,352千円	550,492千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金		20,000
現金及び現金同等物	595,352	530,492

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年6月27日開催の第32期定時株主総会決議に基づき、資本準備金527,440千円、利益準備金15,653千円及び別途積立金70,000千円を減少させ、それぞれその他資本剰余金と繰越利益剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち188,150千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損てん補いたしました。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,129,944	40,697	1,170,642	37,407	1,208,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,129,944	40,697	1,170,642	37,407	1,208,049
セグメント利益	141,579	10,151	151,731	7,784	159,516

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	151,731
「その他」の区分の利益	7,784
全社費用(注)	97,064
四半期連結損益計算書の営業利益	62,452

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	通販小売事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,027,185	40,255	1,067,441	28,223	1,095,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,027,185	40,255	1,067,441	28,223	1,095,665
セグメント利益	113,987	22,101	136,088	4,950	141,038

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通所介護サービス事業及びグリストラップ浄化装置のレンタル業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	136,088
「その他」の区分の利益	4,950
全社費用(注)	86,535
四半期連結損益計算書の営業利益	54,503

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (重要な負ののれん発生益)

通販小売事業において800千円の負ののれん発生益を計上しております。これは、当社連結子会社である㈱ホット・コミュニケーションの株式を追加取得した際に発生したものであります。

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前連結会計年度(平成25年3月31日)

	取得原価(千円)	連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1)株式	150,708	137,020	13,688
(2)その他	10,000	7,589	2,410
合計	160,708	144,609	16,098

(注)1. 「その他」の内訳はすべて複合金融商品であり、取得原価と連結貸借対照表との差額は損益として計上しております。

2. 非上場株式(連結貸借対照表計上額4,761千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

当第2四半期連結会計期間(平成25年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1)株式	399,259	593,705	194,445
(2)その他	10,000	7,738	2,261
合計	409,259	601,443	192,184

(注)1. 「その他」の内訳はすべて複合金融商品であり、取得原価と四半期連結貸借対照表との差額は損益として計上しております。

2. 非上場株式(四半期連結貸借対照表計上額4,761千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	4円32銭	3円8銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	42,433	30,841
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	42,433	30,841
普通株式の期中平均株式数 (千株)	9,816	9,997
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	4円32銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (千円)		
(うち支払利息 (税額相当額控除後) (千円))		
普通株式増加数 (千株)	2	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

夢みつけ隊株式会社

取締役会 御中

清流監査法人

代表社員 公認会計士 安 田 裕
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 加 悦 正 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている夢みつけ隊株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、夢みつけ隊株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。